

令和 8 年度（2026 年度）第 1 回学校運営協議会 議事概要

1. 日 時 令和 8 年(2026 年)5 月 21 日(木) 17 時～18 時 36 分

2. 場 所 豊中市立第九中学校 校長室

3. 出席者 (委員) 5 名 (定数 5 名) (事務局) 校長、教頭

4. 次第及び議事概要

1 学校長 挨拶

- ・学校長より、本年度第 1 回の開催にあたり、挨拶があった。

2 委員の委嘱及び任命について

- ・豊中市教育委員会より送付された委嘱状を各委員の方にお渡しした。

3 各委員紹介

- ・各委員より、自己紹介をいただいた。

4 実施要項などについて

- ・事務局より、資料を元に、学校運営協議会及び委員の位置づけなどについて、説明を行った。

5 会長・副会長の選出

- ・委員の互選により、本年度の委員長及び副委員長を選出し、改めてご挨拶いただいた。

6 確認及び報告

(1) 令和 8 年度(2026 年度)学校教育目標及び学校経営計画について

- ・事務局より、資料を元に、学校教育目標及び学校経営計画における修正点と重点事項について説明をおこなった。
- ・委員からは、前年度のストレスチェックに関して、その要因について質問があり、教職員同士の声かけや職場の雰囲気作りが救いになるとの助言をいただいた。

(2) 本年度の取組みについて

- ・事務局から、本校の近況及び本年度の取組みについて報告があった。
- ・今後、生徒数の増加と教室不足が予想され、プレハブ増設等の要望を市に出していること、職員室も 10 名以上が机がなく、全員が入れない状況にあり、こちらも増設などの要望を出していることが報告された。
- ・行事としては、2 年生のキャンプ、1 年生の緑地公園での校外学習を実施済みであること、3 年生は 6 月に高山方面への修学旅行を予定していることが報告された。
- ・SNS 教育として、外部より講師を招聘し、SNS トラブル防止講演会を実施したことが報告された。
- ・不登校傾向の生徒の支援として、生徒用玄関を通らずに入れる「ステップルーム」を

設置するなど、登校支援と繋がり維持を図っていることが報告された。

・部活動の地域移行について、あと2年半で学校単位の活動は終了し、地域展開へ移行する予定であることが報告された。

7 熟議 これから伸ばしていく必要のある生徒の資質・能力とは

・事務局より、熟議の課題の設定意図として、今後、「自ら考える力」をどう育てるかが課題との認識であることが示された。

・委員より、次のような意見が出された。

・大人が先回りして障害を取り除かないことが大事。あえて困難に直面させ、自分で考えさせる『突き放し』も必要ではないか。

・表現力の前に、安心して自分の意見を言える『共感』や『安心感』のある環境作りが重要

・体育大会の縦割りなど、つながりの大切さを感じられる活動を行っていくことが大切。

8 その他

・委員より次のような意見が出された。

・私立中学受験を決める前の早い時期（小学5年生等）に、公立中の魅力を伝えるオープンスクールを開催してはどうかとの提案があった。今後の検討課題とした。

・事務局から、2年生のキャンプの様子から、生徒たちが互いに教え合い、先回りした大人の助けなしに活動していた様子を挙げ、その潜在能力の高さについての報告があった。

9 第2回 学校運営協議会の開催について

・事務局から、第2回は令和8年(2026年)12月中旬以降に開催を予定していることが報告された。

・第2回開催までの行事として、体育大会は事前に案内するとの連絡があった。